



現場で活躍する 車や機械を紹介

寒河江で写真展

災害時やインフラ整備で
活躍する車、機械などを紹

「キジクル」に A-1編集動画

紹介する「工事のみりよく写真展」が、寒河江市の道の駅寒河江チェリーランドさくらんぼ会館で開かれている。写真。働く車が実際に活動している現場の様子などをパネル58点で伝えている。

子どもたちに建設業に興味を持ってもらおうと、東北建設マネジメント技術協会（秋葉敬治代表理事）が主催、国土交通省東北地方整備局が共催し、本県で初

の開催。会場ではクレーン車で橋を建設する様子やトンネル内天井のジェットエンジンの取り付け、急斜面で作業する高所のり面掘削機械などの写真が並ぶ。

河川、道路、災害現場で働く国土省の車も紹介している。31日と9月1日に子ども向けの塗り絵コーナーを設ける。母親と訪れていた山辺町山辺小2年の武田美桜さん（8）は「大きくなってカッコいい。本物を見てみたい」とうれしそうだった。9月1日まで。（森谷亮）

寒河江市の道の駅で
工事のみりよく写真展

東北建設マネジメント協会
9月1日まで開催

東北建設マネジメント技
術協会(秋葉敬治代表理事)
は、9月1日まで山形県寒
河江市の「チェリーランド



さがえ」(八鍬川原919
の8)で「工事のみりよく
写真展」告知ポスターを
開いている。会員企業の
社員が撮影した現場の作業
風景や職場実習の様子など
を収めた写真を展示。普段
の生活で何気なく利用する
道路や河川などのインフラ
整備に対して理解を広げて
もらう狙いがある。東北地
方整備局が共催し、山形県
内での開催は初となる。

土日限定で子ども向けに
建設機械をモデルにし
た塗り絵が楽しめる。で
きるだけ多くの子ども連
れの家族に来て楽しんで
もらい、建設産業に対す
る興味やあこがれを

持ってもらう機会にしたい
という思いを込めている。

写真展は東北整備局山形
河川国道事務所、最上川ダ
ム統合管理事務所、東北技
術事務所、東北道路メンテ
ナンスセンターが協力を
する。

入場無料。さくらんぼ会
館1階展示場、午前10時～
午後4時(最終日は午後3
時)。

東北建設マネジメント技術協

子どもたちに建設の魅力伝える

山形県内初の写真展が開幕

東北建設マネジメント技術協会（秋葉敬治代表理事）が主催し、東北地方整備局の共催による「工事のみりよく写真展」が道の駅寒河江「チエリーランドさがえ」のさくらんぼ会館で27日に開幕し、初日から家族連れなどで賑わった。開催期間は9月1日まで、展示時間は10時～16時まで（最終日は15時まで）。

このパネル展は、ダムや橋などインフラ施設の役割や工事の作業風景、災害時に活躍する車や機械などを収めた写真約50点を展示。写真に説明文も付して、建設業の魅力や業界への理解、普段何気なく利用しているインフラ整備の役割な



塗り絵に夢中になる子どもたち

どを伝えていく。山形県内では初の開催となり、道の駅の来訪者も足を止めて熱心に見入っていた。会場内におもちゃがもらえる塗り絵コーナーも開

設。子どもたちは、建設機械や作業車をクレヨンや色鉛筆で思い思いに染め上げた。また、車両やダムのペーパークラフトも用意し、完成した作品に子どもたちは目を輝かせていた。会場の運営に携わった東北建設マネジメント技術協会の櫻井一司企画委員会委員は、「この写真展で、建設業の魅力

とかつこよさを子どもたちにしっかりと伝えて、業界に興味を持ってもらえるきっかけとなれば幸いです」と話していた。

延べ800人の 来場者で賑わう



東北マネ技協 寒河江で写真展

東北建設マネジメント技術写真展は、建設産業界のイ
協会(秋葉敬治代表理事)は、マジックアップと将来の担い手
8月27日から9月1日まで、確保・育成を目的とした広報
山形県寒河江市内の道の駅寒河江「チェリーランドさがえ」
で「工事のみりよく写真展」を開催している。今回は山形河
「n山形」を開いた。会期中、川国道事務所などの協力を得
約150組の親子連れを含む、て実施した。
延べ約800人の来場者でに、会場には、職場実習や国土
ぎわった写真。交通省の「道路ではたらく車」わっていた。

「災害の時、活躍する車や機
械」などのほか、現場での作
業風景やライトアップされた
ダムの写真などを展示した。
特に、将来の担い手となる子
どもたちに分かりやすいよ
う、写真のタイトルや展示の
仕方に工夫を凝らしたほか、
おもちゃがもらえる「ぬりえ
コーナー」を設けた。最終日
の1日には、オープンから大
勢の家族連れなどで終日にぎ